

平成22年度帰国教員報告会

平成22年6月19日(土)

さいたま市立指扇小学校

教諭 宇田川 朋子

(青年海外協力隊 パラオ共和国派遣)

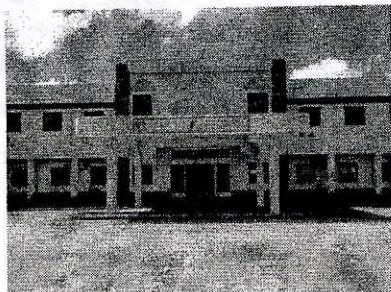
1. 青年海外協力隊での活動

● 活動期間

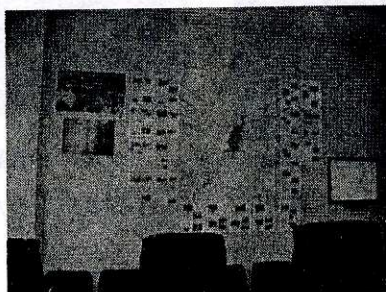
平成20年6月23日～平成22年3月22日

● 活動場所

パラオ共和国 教育省カリキュラム指導課(算数)



教育省の正面玄関



公立学校配置

小学校18校(離島5校)

高校1校



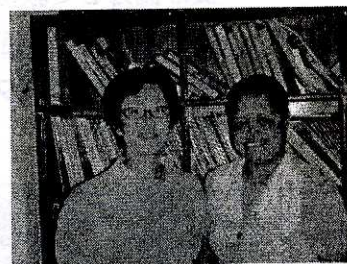
アメリカから輸入した教科書

小学校は1～8年生まで

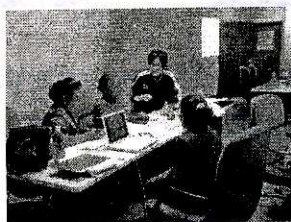
留年、退学制度あり

● 活動内容

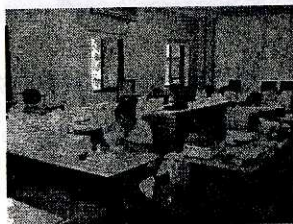
教育省にいる算数スペシャリスト(指導主事)とともに、パラオ全公立学校のカリキュラムや、年間指導計画、全国統一学期末テストや学カテストの作成を主な活動として行ってきた。日常の活動としては、全公立小学校(18校)を巡回指導し、基本的な算数の授業の仕方や、教材研究の仕方などを助言してきた。長期休業中には、低学年教員を対象としたワークショップを行い、特に1年生における数概念獲得を徹底させるための研修会を行った。



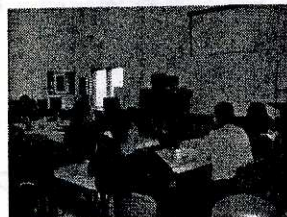
カウンターパートのハドリーン



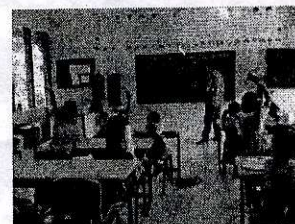
算数カリキュラムの見直しを現地教員と



学期末テストの印刷と綴じ込み、袋詰めをする



1年生教員に対する研修会を開催



巡回指導をして算数学力の向上を目指す

